

# 取扱説明書

## ハンドグリースガン（KH\_CH\_GC シリーズ）

### 1. はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本書は、お使いになるハンドグリースガンが故障なく十分にその性能を発揮するよう、正しい使い方およびご使用上の注意について説明したものです。十分熟読し、記載されている重要事項をよく理解してください。

### 2. 使用上の注意事項

ハンドグリースガンは、グリースを高圧で吐出します。自分の手または人に向かって吐出させると重傷となる恐れがあります。下記の注意事項を必ず守ってご使用ください。

#### ⚠ 警告

- ❗ - ハンドグリースガンを使用する前に、給脂ノズル、給脂ホース、ネジ部などの損傷がないことを必ず確認してください。
- ❗ - 給脂作業の際には適切な保護具（保護眼鏡、保護手袋など）を必ず着用してください。
- ❗ - ハンドグリースガンの操作が重い場合や、グリースが先端部から漏れる場合は、無理に押し込まず原因を確認してから給脂してください。
- ❗ - 万一、グリースが人体に貫入した場合や目に入った場合には、ただちに専門医の診察を受け、適切な処置をしてください。また、皮膚に付着した場合は炎症を起こすことがありますので、水と石鹼で十分に洗い流してください。

#### ⚠ 注意

- ❗ - 給脂箇所により、給脂中のノズルやホース内は高圧となることがあるので手を添えないでください。
- ❗ - オプションのホース形状の給脂ノズルは経年劣化しますので、2年ごとに純正品と交換してください。
- ❗ - ご使用前にノズル先端キャップの緩みがないことを確認してください。
- ❗ - 油筒のロッドまたはチェーンを引いた状態で、油筒内部を覗いたり、油筒先端を人に向けたりしないでください。
- ❗ - オプションのホース形状の給脂ノズルの最小曲げ半径は 35 mm および 40 mm です。それ以下に屈曲させないでください。折れ癖がついた場合は純正品と交換してください。
- ❗ - 給脂先は開放状態でご使用ください、閉塞状態での使用は危険です。

### 3. 仕様

型 式	製品番号	全長 (mm) ※1	質量 (kg) ※1	油筒径 (mm)	容量(手詰) (mL)	カートリッジ (mL)	使用可能グリース (NLGI) ※2		吐出量/ストローク (mL/st)	最高圧力 (MPa) ※3	標準 付属ノズル
							手詰	カートリッジ			
GC-57K	854654	371	1.55	φ57	500	400g(筒型)	No.2~3	No.2~3	1.0	50	CNP-2
KH-120	854629	232	0.45	φ38	140	85	No.1	No.0~2	0.6	20	HSP-1
KH-35	854627	290	1.03	φ59.6	400	210	No.1	No.0~2	1.0	25	HSP-1
KH-32	854628	412	1.19	φ59.6	200	—	No.1	—	1.6	25	HSP-1
CH-400	854626	368	1.21	φ59.6	—	420	—	No.0~2	1.0	50	HSP-2
CH-650LL	854787	401	1.22	φ59.6	550	420	No.1	No.0~2	1.0	80	CNP-1
KH-16	854655	241	0.44	φ38	140	85	No.1	No.1~2	0.4	10	CNP-2
KH-500S	854669S	368	1.22	φ59.6	550	420	No.1	No.0~2	1.0	50	CNP-2 SPK-3C

※1. 上記仕様の全長・質量はノズルを含みません。

※2. NLGI No.の適用範囲は目安となります。グリースの性状によっては適用範囲でも使用できない場合があります。

※3. 表示の圧力は CNP-2 チャックノズル使用時（CH-650LL は CNP-1）の最高圧力です。

## 4. 使用前準備と注意

### 4-1 準備

グリースガンに付属のノズルまたは純正オプション（マイクロ<sup>®</sup>ホース）を、ハンドグリースガン本体のグリース出口（Rc 1/8 メネジ）にねじ込んで取り付けてください。グリースは、機種により説明に従って充填してください。

### 4-2 給脂

グリースニップルとノズルの先端を綺麗に拭いてからノズルを接続し、レバーを往復させてください。正常に注入されていますと、ニップル付近の溝・隙間から古いグリースが押し出されます。給脂する量は機械の取扱説明書を参照するか、古いグリースが完全に押し出されるまでとします。給脂箇所によってはグリースが出ない場合がありますのでご注意ください。

### 4-3 保守・日常

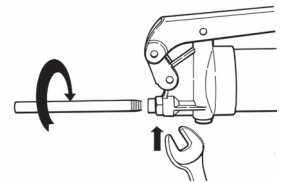
特別な保守点検は不要ですが、グリース内にゴミなどが混入しないように注意してください。また、給油口のニップルに泥・砂などが付着しないよう、ハンドグリースガンと共に確認・清掃してください。給脂の際、レバーの動きが重い（普段と比較して異常に強い力が必要）ときには、ニップルを点検してください。

### 4-4 注意事項

最初に使用する場合、グリースが出にくいことがあります。そのときは、必ずレバーを全開・全閉で操作してください。中途半端な操作では油筒内のグリースが吸引されません。

### 4-5 ノズルの交換

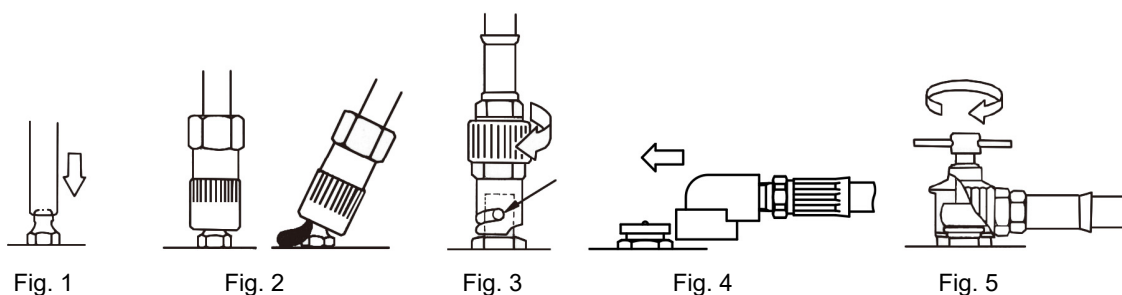
グリースガンから付属のノズルまたは純正オプション（マイクロ<sup>®</sup>ホース）の取り外し・交換をする場合は、ノズルの取付金具（本体部）をスパナで押さえながら取り外し、新たなノズルまたはマイクロ<sup>®</sup>ホースを取り付け交換してください。



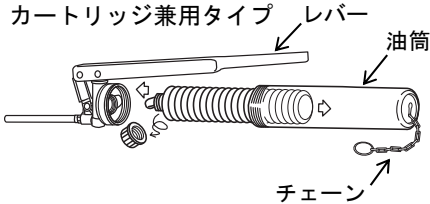
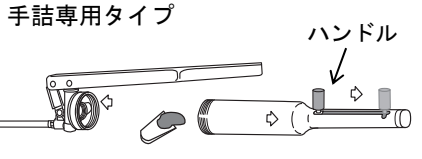
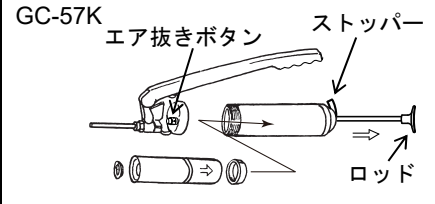
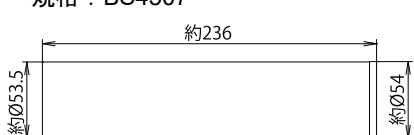
### 4-6 ニップルとノズルの接続

ノズルタイプ	グリースニップルタイプ	接続方法
標準ノズル	ハイドロリックニップル	ノズルの先端をニップルに垂直に押し当てながら給脂してください。(Fig.1)
チャックノズル	ハイドロリックニップル	チャックノズルです。ニップルに垂直に押し込み、チャックさせてから給脂してください。ノズルをニップルから取り外すときは、ノズルを傾け、内圧を抜いてから取り外してください。(Fig.2)
ピンタイプ用	ピンタイプニップル	ニップルに垂直に押し込み、切り溝に沿ってニップルのピンまで完全にチャックをさせてから給脂してください。(Fig.3)
ボタンヘッド用	ボタンヘッドニップル	ホースの先端にチャックを横から差し込んでから給脂してください。(Fig.4) ※給脂時は、チャックが外れないように注意してください。
		ホースの先端にチャックを横から差し込み、上部のネジを締め込んでから給脂してください。(Fig.5)

※グリースニップル形状については、「7.グリースニップルの種類」の項を参照してください。



## 5. 使用方法

グリースの充填方法		
<p>カートリッジ兼用タイプ</p>  <p>レバー 油筒 チェーン</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>油筒をねじ戻して本体より取り外してください。</li> <li>チェーンを引いて油筒底の溝にロックしてください。</li> <li>カートリッジグリース（指定 mL）のキャップを外してから本体にねじ込んでください。</li> </ol> <p>※カートリッジグリースを使用しない場合は、直接油筒にグリースを充填してください。このとき、グリース内にエアやゴミや砂などの異物が混入しないよう注意してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>油筒を本体に取り付けてください。</li> <li>チェーンのロックを外し、油筒内に収納してください。</li> <li>レバーを 2~3 回往復させ、本体に入っているテストグリースがノズルの先端から出るのを確認し、混ざりがなくなった状態で使用してください。</li> </ol> <p>※グリースを直接油筒に充填して使用する場合に、レバーを操作してもなかなかグリースが出ないことがあります。これはグリース内のエアポケットが原因ですので、油筒を 1~2 回転緩め、エアを抜いてください。手詰容量は、指定容量以下で使用してください。</p>	<p>手詰専用タイプ</p>  <p>ハンドル</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>油筒をねじ戻して本体より取り外してください。</li> <li>ハンドルを引いて油筒の少しくびれた箇所（切り溝）にロックしてください。</li> <li>ヘラを使って少量のグリースを取り、油筒の縁より静かに充填してください。（指定 mL）このとき、グリース内にエアやゴミや砂などの異物が混入しないよう、十分に注意してください。一杯になりましたら 1~2 回油筒を軽く叩き、混入したエア抜きとグリースを調べてください。</li> <li>ハンドルを引いた状態のまま、油筒を本体に取り付けてください。</li> <li>以上で充填完了です。補給も同様に行ってください。</li> <li>使用するときには、ハンドルを切り溝から外して、戻してください。スプリングの力でグリースが加圧されます。</li> </ol> <p>※レバーを操作してもなかなかグリースが出ないことがあります。これはグリース内のエアポケットが原因ですので、油筒を 1~2 回転緩め、エアを抜いてください。手詰容量は、指定容量以下で使用してください。</p>	<p>GC-57K</p>  <p>エア抜きボタン ストッパー ロッド</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>油筒をねじ戻して本体より取り外してください。</li> <li>手で油筒を持ち、もう一方の手でロッドを引いてください。ロッドは自動的にロックされます。</li> <li>筒型カートリッジグリースの両端の蓋を両方とも取り外し、向きに注意して油筒に装填してください。</li> <li>油筒を本体に取り付け、ストッパーを押すと、ロックが外れます。</li> <li>以上で装填は完了です。交換も同様に行ってください。</li> <li>使用中に、まだグリースがあるのにレバーを動かしてもグリースが出ないときは、グリース内のエアが原因です。ロッドを前後に往復させ、本体のエア抜きボタンを押して、内部のエアを逃がしてください。</li> </ol> <p><b>GC-57K 適用カートリッジ</b> 規格：BS4507</p>  <p>約236 約φ54 約φ53.5</p>

### ⚠ 注意



- 油筒を本体に取り付けるときに、強く締めすぎるとパッキンが変形・破損し、グリース漏れが発生する恐れがあります。



- 油筒内にグリースを充填した状態で保管しないでください。グリースが漏れ出る場合があります。

## 6. 純正オプション

すべてのレバー式ハンドグリースガンに取付可能です。

マイクロ®ホースは必ず最高圧力以下でご使用ください。超える使用は、部品の損傷またはケガをする恐れがあります。ハンドグリースガンにマイクロ®ホースを接続する場合は、それぞれの最高圧力が低い方の数値でご使用ください。

分類	型式	製品番号	全長 (mm)	質量 (g)	最小曲げ半径 (mm)	最高圧力 (MPa)	用途
マイクロ®ホース	SPK-1C	850664	355	141	35	21	ピンタイプニップル用
	SPK-2C	855205	373	160			ボタンヘッドニップル用
	SPK-3C	850666	330	83			ハイドロリックニップル用
	SPK-1C-1M	850478	1069	189			ピンタイプニップル用
	SPK-2C-1M	855206	1073	222			ボタンヘッドニップル用
	SPK-3C-1M	850480	1030	132			ハイドロリックニップル用
	SPK-20C	850381	377	320			ボタンヘッドニップル用
	SPK-700E	851268	705	160			ハイドロリックニップル用
	SPK-3C-1.5M	855271	1530	176			ハイドロリックニップル用
高圧用 マイクロ®ホース	SPK-500S	805177	572	300	40	50	ハイドロリックニップル用
	SPK-1000S	805178	1072	350			ハイドロリックニップル用
	SPK-1500S	805252	1572	410			ハイドロリックニップル用

※KH-16 のグリースガンにマイクロ®ホースを使用する場合は、吐出部プラグを付け換えてから接続してください。  
(SPK-2C、SPK-2C-1M、SPK-20C を取り付けることはできません。)

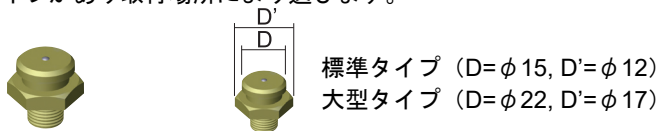
## 7. グリースニップルの種類（各ニップルの使用圧力を確認してからご使用ください）

### ■ハイドロリックニップル HYDRAULIC NIPPLE JIS B 1575



一般的にベアリングや軸受けなどの給油口に 最も多く使用されているのがこのタイプです。  
ストレートタイプとアングルタイプがあり取付場所により選びます。

### ■ボタンヘッドニップル BUTTONHEAD FITTING



土木・建設機械などの給油口に多く使用されているのがこのタイプです。  
ボタンサイズが大小あり、スライドして接続します。

### ■ピンタイプニップル PIN-TYPE FITTING



農機・鉄道車両などの給油口に使用されているのがこのタイプです。  
凹形状の内部に取付けられ、上部に蓋がある場合もあります。

※グリースニップルの頭部は JIS（日本）、SAE（アメリカ）、DIN（ドイツ）など各国共通ですが、弊社の製品は JIS の規格に合わせて製作しております。最近この規格に合わない寸法もありますので確認、注意が必要です。

## 8. 保証規定

- 1.保証期間：** 製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。
- 2.保証内容：** 保証期間内に、正常なご使用及び適正な保管・保守をされたにも拘わらず、弊社の責任に基づく故障が起きました場合には、修復費用は全額負担いたします。ただし、二次的に発生する損失の補償は対象外とさせていただきます。
- 3.適用除外：** 期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。
  - (1) 構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用されて生じた故障。
  - (2) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品。
  - (3) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- 4.補修部品：** 補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。5年を経過したものに つきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

**株式会社ヤマダコーポレーション**

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号 FAX (03)-3777-3328

**製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055**

202401.2770 OSA074U